

科目名 (Eng)		文学 (Japanese Literature)							
担当教員		蛭田 徹							
対象学年等		学科・学年		授業期間・区分・単位数・時間数			分野	形態	学修単位科目
		一般科目 (コミ)	4	後期	選択	1	30	一般	A
目標基準との対応		福島高専の教育目標との対応: (A-1), (A-3),							
		卒業時に身に付けるべき学力や資質・能力との対応: 1)							
		JABEE基準1 (I) との対応: (a)							
授業の概要と方針		『今昔物語』の購読・解釈を通して、王朝貴族文学にはまったく見られなかった古代社会のあらゆる階層や職業の庶民の生きた姿や哀歓を理解し、併せて古文に関心を持ち、親しむ心を育てる。							
到達目標		①さまざまな登場人物の心情・行動について理解する。 ②読解力を高め、作品を批評・鑑賞することができるようにする。							
授業計画									
	週	授業項目		理解すべき内容			事前学習		
後期	16	平安時代の文学について		平安文学概観			授業で扱う該当作品を事前に読み、その作品に対する自分なりの印象をノートに書き留めておくこと。		
	17	『今昔物語』本文購読		巻五 第19話					
	18	『今昔物語』本文購読		巻十 第36話					
	19	『今昔物語』本文購読		巻十四 第3話					
	20	『今昔物語』本文購読		巻十五 第37話					
	21	『今昔物語』本文購読		巻十九 第5話					
	22	『今昔物語』本文購読		巻十九 第14話					
	23	『今昔物語』本文購読		巻二十二 第8話					
	24	『今昔物語』本文購読		巻二十三 第21話					
	25	『今昔物語』本文購読		巻二十五 第7話					
	26	『今昔物語』本文購読		巻二十五 第12話					
	27	『今昔物語』本文購読		巻二十八 第1話					
	28	『今昔物語』本文購読		巻二十八 第38話					
29	『今昔物語』本文購読		巻二十九 第17話						
	30	まとめ		「説話文学」の特質					
試験について		中間試験は共通科目試験日に50分の試験を実施する。期末試験は50分の試験を実施する。							
評価方法		定期試験の成績100%で評価する。							
教科書		担当教員がプリントを準備する。							
参考書									
関連科目									
履修上の注意									